

令和3年度

# 事業報告書

第1事業年度

自 令和3年4月1日

至 令和4年3月31日



地方独立行政法人 天王寺動物園

## 目次

1	はじめに	1
2	法人の基本情報	
(1)	法人の概要	
①	目的	2
②	業務内容	2
③	沿革	2
④	設立に係る根拠法	2
⑤	組織図	2
(2)	事務所の所在地	3
(3)	資本金の額及び出資者ごとの出資額	4
(4)	役員 の 状 況	5
(5)	常勤職員 の 状 況	5
3	財務諸表の要約	
(1)	要約した財務諸表	
①	貸借対照表	6
②	損益計算書	6
③	キャッシュ・フロー計算書	7
④	行政サービス実施コスト計算書	7
(2)	財務諸表の科目説明	
①	貸借対照表	8
②	損益計算書	8
③	キャッシュ・フロー計算書	9
④	行政サービス実施コスト計算書	9
4	財務情報	
(1)	財務諸表の概要	
①	経常費用、経常収益、当期総損益、資産、負債、 キャッシュ・フローなどの主要な財務データの分析（内容）	10
②	行政サービス実施コスト計算書の分析（内容）	10
(2)	重要な施設等の整備等の状況	
①	当事業年度中に完成した施設等及び当年度において継続中の 施設等の新設・拡充	10
②	当事業年度中に処分した施設	10

(3) 予算及び決算の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11

(4) 業務経費等の削減・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11

5 事業の説明

(1) 財源の内訳・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11

## 1 はじめに

地方独立行政法人天王寺動物園は、動物園としては全国初の地方独立行政法人として令和3年4月1日に発足しました。

当法人は、公立動物園の使命である社会教育施設として、動物の生態に関する調査研究及び教育活動を行い、併せて絶滅のおそれのある動物の繁殖や種の保存に資する活動を行うことにより、動物の生態についての市民の理解と関心を深めるとともに、環境保全に関する市民の意識の醸成を図り、もって生物多様性の保全に寄与することを目的としています。

法人化に合わせ、飼育部門の体制強化を行い、動物福祉の向上に努め「ひとにも動物にもやさしい動物園」を目指し取り組んでいます。

法人初年度である令和3年度は、前年度と同様、新型コロナウイルス感染症の影響を受け臨時休園を余儀なくされたこともあり、入園者数は839,003人とどまりました。

そのような状況の中、運営部門では、あらたに公式Twitterを開設し、よりタイムリーな情報発信を行うとともに、休園期間中にはライブ配信を行うなど、積極的な情報発信を行いました。また、来園者アンケートで寄せられた意見を踏まえて各種改善を行うなど、よりよい園運営に取り組みました。さらに、新たなファンクラブ制度の立ち上げやAmazon「ほしいものリスト」を活用するなど、より多くの方から当法人をご支援いただけるよう入園料外収入の確保にも力を入れました。

飼育部門では、環境エンリッチメントやハズバンドアリートレーニングなどの動物福祉の向上にも力を入れ、対象の動物種を拡充することができました。

今後は、令和7年に開催される「大阪・関西万博」に向けて、複数獣舎の整備を行い、動物福祉の向上と動物園のさらなる魅力向上に向けて、取り組んでまいります。

## 2 法人の基本情報

### (1) 法人の概要

#### ① 目的

地方独立行政法人法（平成15年法律第118号）に基づき、動物園を設置して、動物を導入し、飼育して公衆の観覧に供するとともに、動物の生態に関する調査研究及び教育活動を行い、併せて絶滅のおそれのある動物（以下「希少動物」という。）の繁殖その他希少動物の種の保存に資する活動を行うことにより、動物の生態についての市民の理解と関心を深めるとともに、環境保全に関する市民の意識の醸成を図り、もって生物多様性の保全に寄与することを目的とする。

#### ② 業務内容

地方独立行政法人天王寺動物園定款第16条に定める下記の業務を行う。

- 1) 動物園を設置すること
- 2) 動物を導入し、飼育して公衆の観覧に供すること
- 3) 動物に関する資料を収集し、整理し、及び提供すること
- 4) 動物の生態に関する調査研究を行うこと
- 5) 動物の生態に関する教育活動を行うこと
- 6) 希少動物の繁殖その他希少動物の種の保存に資する活動を行うこと
- 7) 他の動物園、水族館、学校その他の国内外の関係機関と連携し、及び協働すること
- 8) 前各号に掲げる業務に附帯する業務を行うこと

#### ③ 沿革

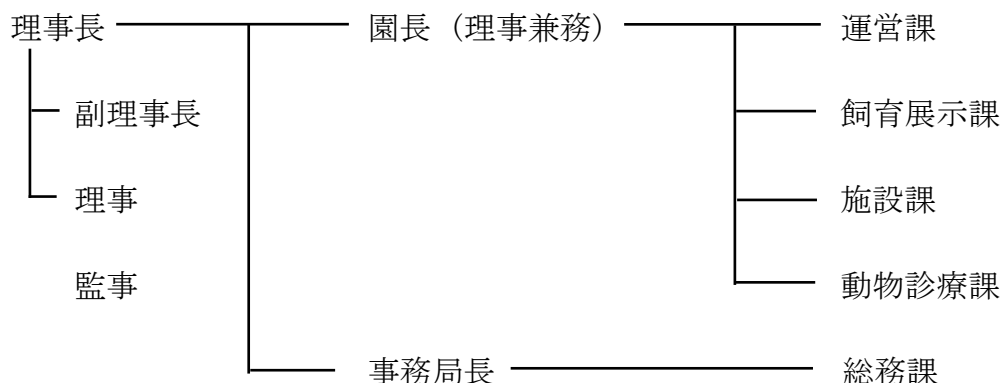
明治17年に、大阪府立博物館附属動物檻として設置、大正4年1月1日に大阪市立動物園として開園。令和3年4月1日に、地方独立行政法人天王寺動物園となる。

#### ④ 設立に係る根拠法

地方独立行政法人法（平成15年法律第118号）

（最終改正：令和2年6月10日（令和2年法律第41号））

#### ⑤ 組織図（令和4年3月31日現在）



## (2) 事務所の所在地

大阪市天王寺区茶臼山町1-108

## (3) 資本金の額

資本金は、大阪市が出資する以下の別表に掲げる建物とし、当該資本金の額は当該建物について、出資の日における時価を基準として大阪市が評価した価額の合計額とする。

## 【別表】

施設名等	所在	延べ床面積 (㎡)
展示場、ポンプ室	大阪市天王寺区茶臼山町1番地1	70.44
展示場	同	91.71
獣舎、倉庫	同	249.40
展示場	同	130.68
倉庫	同	131.37
便所	同	13.74
展示場	同	13.88
展示場	同	539.46
事務所・倉庫	同	428.30
展示場	同	345.91
展示場	同	19.44
便所	同	56.12
展示場	同	276.88
便所	同	56.12
展示場・事務所、配電室	同	939.41
店舗・事務所、店舗、店舗	同	401.01
便所	同	42.60
展示場	同	414.43
便所	同	50.01
展示場	同	2527.27
獣舎・機械室	同	624.18
展示場・作業場、展示場	同	99.93
事務所	同	370.98
配電室・事務所	同	67.72
獣舎	同	272.48
展示場	同	671.72
便所	同	54.66
作業所	同	7.46
店舗・集会所・展示場	同	1205.08
展示場	大阪市天王寺区茶臼山町54番地2	73.41
倉庫	同	95.67
倉庫・作業所	同	259.47
倉庫	同	106.86
倉庫	同	126.47
展示場	同	78.50

車庫	同	31.29
展示場	同	62.81
展示場	同	100.35
展示場	同	94.44
展示場	同	210.50
倉庫・車庫	同	659.00
便所	同	37.56
作業所	同	31.92
作業所	同	612.91
獣舎・倉庫	同	213.84
倉庫	同	31.20
獣舎	同	201.00
展示場	同	416.32
倉庫・配電室	同	179.06
展示場	同	273.46
便所・配電室	同	115.20
展示場	同	157.60
店舗	大阪市天王寺区茶臼山町115番地1	51.27
事務所、駐輪場	大阪市天王寺区茶臼山町123番地1、 123番地2、123番地3	1255.05

(4) 役員の状況（役職、氏名、任期、経歴）

（令和4年3月31日現在）

役職	氏名	任期	経歴
理事長	山中 諄 やまなか まこと	自 令和3年4月1日 至 令和7年3月31日 (4年)	昭和40年 南海電気鉄道株式会社入社 平成13年 南海電気鉄道株式会社代表取締役社長 平成19年 南海電気鉄道株式会社代表取締役会長兼CEO 平成27年 南海電気鉄道株式会社取締役会長 平成29年 南海電気鉄道株式会社取締役相談役 令和元年 南海電気鉄道株式会社特別顧問（現任） 令和3年 地方独立行政法人天王寺動物園 理事長（現任）
副理事長	野村 俊明 のむら としあき	自 令和3年4月1日 至 令和5年3月31日 (2年)	昭和59年 大阪市役所入庁 平成6年 収入役室出納課主査 平成9年 建設局管理部庶務課計理係長 平成13年 建設局管理部庶務課長代理 平成16年 建設局管理部監理団体担当課長 平成23年 西淀川区長

			平成25年 こども青少年局青少年担当部長 平成29年 都市計画局理事 平成31年 建設局理事 令和3年 地方独立行政法人 天王寺動物園 副理事長（現任）
園長 (理事兼務)	向井 猛 むかい たけし	自 令和3年4月1日 至 令和5年3月31日 (2年)	昭和60年 札幌市役所入庁 円山動物園 飼育職員・臨床獣医師 平成20年 円山動物園飼育展示課 飼育展示二係長 平成21年 円山動物園飼育展示課 飼育展示一係長 平成24年 札幌市動物管理センター所長 平成28年 札幌市環境都市推進部 環境管理担当課長 令和3年 地方独立行政法人 天王寺動物園 園長（現任）
監事	吉田 恭子 よしだ やすこ	自 令和3年4月1日 至 令和7年3月31日 (4年)	平成12年 朝日監査法人（現・有限責任あずさ監査 法人）大阪事務所入所 平成16年 公認会計士登録 平成17年 税理士登録 吉田公認会計士事務所開設 平成24年 大阪市建設局 道頓堀川水辺空間利活用 検討会 有識者委員（現任） 平成31年 大阪有機化学工業株式会社 社外監査役（現任） 令和3年 米国公認会計士（ワシントン州）登録 エスペック株式会社 社外監査役（現任） 地方独立行政法人 天王寺動物園 監事（現任）

(5) 常勤職員の状況（令和4年3月31日現在）

常勤職員は、令和3年度末現在、74人であり、平均年齢は43.3歳となっております。このうち、大阪市からの出向者は18人、退職者は1人です。



### 3 財務諸表の要約

#### (1) 要約した財務諸表

##### ① 貸借対照表

(単位：百万円)

資産の部	金額	負債の部	金額
固定資産	4,133	固定負債	506
建物・構築物	4,379	資産見返負債	425
機械装置・工具器具備品等	78	長期寄附金債務	81
減価償却累計額	△388	流動負債	367
建設仮勘定	64	寄附金債務	24
無形固定資産	0	未払金	289
その他固定資産	0	その他流動負債	54
流動資産	532	負債合計	873
現金・預金	454	純資産の部	
未収金	78	地方公共団体出資金	4,052
その他流動資産	0	資本剰余金	△346
		利益剰余金	86
		純資産合計	3,792
資産合計	4,665	負債純資産合計	4,665

※百万円未満を四捨五入のため、各項目の合計と合計欄が合わないことがあります。

##### ② 損益計算書

(単位：百万円)

科目	金額
経常費用	1,389
業務費	1,198
人件費	519
水道光熱費	230
業務委託料	214
飼料費	85
その他業務費用	150
一般管理費	192
人件費	121
その他一般管理費	71
経常収益	1,476
運営費交付金収益	1,138
入園料収入	238
寄付金収益	13
ファンクラブ、広告料収入	11
その他雑益	33
資産見返戻入	43
臨時損失	90
臨時利益	90
当期総利益	86

※百万円未満を四捨五入のため、各項目の合計と合計欄が合わないことがあります。

③ キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	金額
I 業務活動によるキャッシュ・フロー (A)	472
II 投資活動によるキャッシュ・フロー (B)	△18
III 財務活動によるキャッシュ・フロー (C)	0
IV 資金増加額 (D=A+B+C)	454
V 資金期首残高 (E)	0
VI 資金期末残高 (F=D+E)	454

※百万円未満を四捨五入のため、各項目の合計と合計欄が合わないことがあります。

④ 行政サービス実施コスト計算書

(単位：百万円)

科目	金額
I 業務費用	1,184
損益計算書上の費用 (控除) 自己収入等	1,479 △295
II 損益外減価償却相当額	346
III 引当外賞与増加(減少)見積額	38
IV 引当外退職給付増加(減少)見積額	△62
V 機会費用	855
VI 行政サービス実施コスト	2,361

※百万円未満を四捨五入のため、各項目の合計と合計欄が合わないことがあります。

## (2) 財務諸表の科目説明

### ① 貸借対照表

#### (資産)

建	物	:	建物
構	築	物	: 構築物
機	械	装	置 : 機械装置
工	具	器	具 備 品 等 : 工具器具備品、車両運搬具
建	設	仮	勘 定 : 固定資産で通常の業務活動の用に供することを前提として、建設又は製作途中における当該建設又は製作のために支出した金額及び充当した材料
減	価	償	却 累 計 額 : 上記固定資産の減価償却累計額
無	形	固	定 資 産 : 電話加入権
そ	の	他	固 定 資 産 : 破産更生債権
現	金	及	び 預 金 : 現金、預金
未	収	金	: 入園料収入未収金、その他未収金
そ	の	他	流 動 資 産 : たな卸資産、前払費用、立替金

#### (負債)

資	産	見	返	負	債	:	運営費交付金、補助金、寄附金、譲渡を財源として取得した固定資産残高の見合いで計上される負債
長	期	寄	附	金	債	務	: 寄附金債務のうち、一年以内に使用されないと認められるもの
寄	附	金	債	務	:	寄附金のうち使途が特定されている寄附金	
未	払	金	:	期末における未払金			
そ	の	他	流	動	負	債	: 未払消費税等、預り金

#### (純資産)

地	方	公	共	団	体	出	資	金	:	大阪市からの出資金であり法人の財産的基礎を構成するもの
資	本	剰	余	金	:	資本金及び利益剰余金以外の純資産であって、贈与資本及び評価替え資本が含まれる				
利	益	剰	余	金	:	法人の業務に関連して発生した剰余金の累計額				

### ② 損益計算書

#### (経常費用)

業	務	費	:	動物園の運営に係る経費					
人	件	費	:	給与、賞与、法定福利費等動物飼育や園運営に従事する職員に要する経費					
水	道	光	熱	費	:	水道光熱費			
業	務	委	託	費	:	園内警備、清掃作業、ゲート出改札等業務委託費			
飼	料	費	:	飼育動物の飼料に要した費用					
そ	の	他	業	務	費	用	:	法人の動物園運営等業務に要した経費	
減	価	償	却	費	:	固定資産減価償却費			
一	般	管	理	費	:	法人の管理運営に要した経費			
人	件	費	:	給与、賞与、法定福利費等管理部門に従事する職員に要する経費					
そ	の	他	一	般	管	理	費	:	管理運営に要した経費（人件費を除く）

#### (経常収益)

運	営	費	交	付	金	収	益	:	大阪市から交付を受けた運営費交付金
入	園	料	収	入	:	動物園入園料収入			

寄 附 金 収 益 : 寄附金のうち使途が特定されていない寄附金  
ファンクラブ収入、広告 : 動物園ファンクラブ会費、広告料収入  
料収入  
そ の 他 雑 益 : 使用料収益、雑益  
資 産 見 返 戻 入 : 運営費交付金、補助金、寄附金、譲渡を財源として取得した固  
定資産の減価償却費の見合いで計上される収益  
臨 時 損 失 : 固定資産除売却損、減損損失、過年度損益修正額  
臨 時 利 益 : 固定資産売却益、過年度損益修正額

③ キャッシュ・フロー計算書

業務活動によるキャッ : 入園料等サービスの提供等による収入、飼料商品、またはサー  
シュ・フロー ビスの購入による支出等、投資活動及び財務活動以外の取引に  
よるキャッシュ・フロー  
投資活動によるキャッ : 通常の業務活動の実施の基礎となる固定資産の取得及び売却、  
シュ・フロー 投資資産の取得及び売却等によるキャッシュ・フロー  
財務活動によるキャッ : 増減資による資金の収入・支出及び借入れ・返済 による収入・  
シュ・フロー 支出等、資金の調達及び返済によるキャッシュ・フロー

④ 行政サービス実施コスト計算書

業 務 費 用 : 損益計算書上の費用から自己収入等を差し引いた額  
損益計算書上の費用 : 損益計算書における費用相当額  
(控除) 自己収入等 : 運営交付金に基づく収益及び国又は地方公共団体からの補助  
金等に基づく収益以外の収益  
損益外減価償却相当額 : 償却資産のうち、その減価に対応すべき収益の獲得が予定され  
ていないものとして特定された資産の減価償却相当額  
引当外賞与増加(減少) : 賞与に充てるべき財源措置が運営交付金により行われること  
見積額 により、引当金を計上しないこととした場合の賞与増加額  
引当外退職給付増加(減 : 退職給付に充てるべき財源措置が運営費交付金により行われ  
少)見積額 ることにより、引当金を計上しないこととした場合の退職給付  
増加見積額  
機 会 費 用 : 市場取引ではなく、法人へ無償又は減額された使用料で資産を  
賃貸したことで得られなくなった費用  
地方公共団体からの出資に対し国債等の利回りを乗じて計算  
した機会費用

#### 4 財務情報

##### (1) 財務諸表の概要

##### ① 経常費用、経常収益、当期純利益、資産、負債、キャッシュ・フローなどの主要な財務データの分析

(内容)

(経常費用)

令和3年度の経常費用は1,389百万円となりました。主な費用は役職員の人件費、動物飼料、清掃や警備等の業務委託費、水道光熱費です。

(経常収益)

令和3年度の経常収益は1,476百万円となりました。経常収益は、運営費交付金収益が大半を占めており、次に入園料収入が多くなっています。

(当期純利益)

令和3年度の当期総利益は、86百万円となりました。

(資産)

今年度は、法人設立にあたり、大阪市から建物の現物出資及び資産の無償譲与を受けました。これらは、資産の部の固定資産となり、純資産の部の資本金、資本剰余金としています。

なお、現物出資された固定資産など特定の償却資産(地方独立行政法人会計基準第87)にかかる減価償却相当額は、損益計算上の費用には計上せず、資本剰余金を減額しています。

(負債)

令和3年度末時点の負債合計は873百万円となりました。

(業務活動によるキャッシュ・フロー)

令和3年度の業務活動によるキャッシュ・フローは472百万円の収入となりました。

これは運営費支出520百万円、人件費支出594百万円、入園料収入215百万円、運営費交付金収入1,203百万円、寄付金収入117百万円、その他収入14百万円、預り金等受払38百万円となったことが主な要因です。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

令和3年度の投資活動によるキャッシュ・フローは18百万円の支出となりました。

これは、有形固定資産の取得による支出が18百万円となったことが主な要因です。

##### (2) 重要な施設等の整備等の状況

##### ① 当事業年度中に完成した施設等及び当年度において継続中の施設等の新設・拡充

箇所	契約額 (千円)
ホッキョクグマ舎新築工事基本設計等業務委託	41,000
第一期リニューアル工事基本計画策定等発注支援業務委託 (その1)	2,953

##### ② 当事業年度中に処分した施設等

該当事項はございません。

## (3) 予算及び決算の概要

(単位：百万円)

区分	予算額	決算額	差額 (決算－予算)	備考
収入				
運営費交付金	1,203	1,203	0	
施設整備費補助金	26	26	0	
自己収入	375	318	▲ 57	
事業収入	265	238	▲ 27	(注1)
その他収入	110	80	▲ 30	(注2)
計	1,604	1,547	▲ 57	
支出				
業務費	1,371	1,155	▲ 216	
業務経費	826	636	▲ 190	(注3)
人件費	545	519	▲ 26	
一般管理費	207	192	▲ 15	
施設整備費	26	26	0	
計	1,604	1,373	▲ 231	

※百万円未満を四捨五入のため、各項目の合計と合計欄が合わないことがあります。

(注1) コロナ禍による入園者数の減によるものです。

(注2) 大阪市からの負担金収入の減(動物園、大阪市一括発注業務委託の減)によるものです。

(注3) 改修工事発注金額の減によるものです。

## (4) 業務経費等の削減

- ・ 規程に基づき可能な限り競争入札を実施するとともに、契約期間を長期化することによって金額の低減に努めました。
- ・ 電気の共同調達により、コストダウンを図りました。
- ・ Amazonほしい物リストの活用で備品経費の節減を図りました。

## 5 事業の説明(財源の内訳)

当法人の経常収益は1,476百万円で、その内訳は運営費交付金収益1,138百万円(収益の77.1%)  
入園料収入238百万円(16.1%)、寄付金収益13百万円(0.9%)などとなっております。